



平成31年度 西区実施プラン

平成31年（2019年）4月

はじめに

西区は、三角山や琴似発寒川をはじめ、豊かな自然に恵まれ、その魅力を高める活動に地域の方々が長年にわたって取り組んでいます。

また、さまざまな文化芸術関連の施設が設置され、多様な文化芸術の催し物が行われております。

こうした西区の自然や区民の皆さまの活動を大切にしながら、誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づいた防災・環境・文化などの事業を、皆さまとともに進めてまいります。

区役所は区民の皆さまにとって一番身近な行政機関です。区民の視点に立ち、責任ある仕事と親切丁寧な対応に、より一層努めてまいります。

西区長 栗崎 寿也

I 西区の使命

区民誰もが健康で安心して生き生きと暮らすことができるように、地域の主体的なまちづくり活動を支援し、区民の皆さまとともに西区のまちづくりを進めてまいります。

II 西区の運営方針

西区は、札幌市まちづくり戦略ビジョンに基づく防災・環境・文化芸術の各事業を中心に行うとともに、次の3つの方針でまちづくりや区役所の運営を進めます。

- ◆ 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり
- ◆ 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり
- ◆ 市民感覚を大切にされた地域とともに進めるまちづくり

西区の運営方針に基づき各部では次の目標を掲げます。

- ◆市民部・・・さまざまなまちづくり活動の推進支援と区民の声を活かした区役所運営の推進
- ◆土木部・・・道路、公園での安全・安心・快適と創造性を育む空間の提供
- ◆保健福祉部・・・子どもから高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせる地域福祉の推進

1 誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり

(1)地域の防災力強化

○平成30年9月の北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、共助に加え自助の内容を強化した「西区防災訓練」を地域住民や関係団体と協働して開催します。また、西区独自の取組である避難所実地研修では、地域関係者と連携したより実践的な運営強化策を検討します。そのほか地域の自主防災に関する取り組みを積極的に支援する「災害に強いまちづくり事業」を実施することにより、地域の防災力を高めます。

○地域団体と防災関係団体が一堂に会する「西区災害防止安全対策連絡会議」を開催し、防災に関する情報の共有、西区における防災対策の推進及び地域住民の安全確保を図ります。



防災訓練



災害防止安全対策連絡会議

<数値目標> 西区防災訓練の地域住民参加者数 100人

(2)認知症の方や家族への支援

認知症高齢者は今後も増加していくことが予測されます。認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて、西区オリジナルの「やさしさ まごころのあるまち つくる会」というキャッチフレーズのもと、多くの区民の皆様が認知症についての理解を深め、早期に気づき、見守りや相談に結びつための周知や講座を関係機関とともにを行います。また、認知症の方や介護者の孤立を防ぐため、介護者同士の交流会等を開催します。

(3)介護予防体操の普及

高齢者が健康を保ちながら地域で活躍できることを目指し、住民とともに制作した介護予防体操「エコロコ！やまべ誰でも体操」の普及を、関係団体や地域の方々とともに進めていきます。

また、普及員養成講座を引き続き開講するとともに、普及員が地域の担い手として活躍できるための場の拡大や研修会等の開催を通して普及員同士が交流できる体制づくりを進めていきます。

<数値目標> 普及員数 385人

(4)安心して子育てできる地域の環境づくり

こそだてインフォメーション「さんかくやまべのへや」などにおいて、利用者のニーズに添い、子育てに関する情報の提供や相談などを行います。

また、子育てボランティアの活動や、地域主体で運営している子育てサロンのPR・活動の支援、「さんかくやまべまつり」や「転入者子育て交流会」の実施、地域における子育て関係機関・団体と連携を図るなど、乳幼児の子育て家庭が安心して子育てできるよう、環境づくりを進めます。



地域主体の子育てサロン

(5)地域との協働による健康づくり

健康寿命の延伸を目指して、地域における健康づくり活動の活性化を図るため、健康づくりに取り組む団体やグループの活動を支援し、健康フェアやウォーキング会、健康講座など、誰もが参加できる健康づくり事業を協働で行います。

また、健康づくり活動がより多くの区民に広がるよう、地域主催の健康講座や子育てサロン、乳幼児健診の場を活用し、若い世代に対してがん検診等の啓発を行うと共に、西区ウォーキングマップの改訂を行うなど、幅広い世代に向けた啓発を行います。



ウォーキング会

(6)誰もが楽しめる公園づくり

地域の身近な公園の全面改修を、地域の方々の声を取り入れながら、順次進めます。また、安全安心に公園を利用できるように、ユニバーサルデザインの導入や老朽化した遊具、ベンチ、外柵などの部分改修を行います。

(7)自転車対策の推進

歩行者の通行を妨げないよう、地下鉄やJR駅、駐輪場の周辺で、自転車の誘導・整理、放置自転車の撤去等を行います。

(地下鉄・JR駅8駅、放置禁止区域2箇所)

(8)安全・安心な道路の確保

道路舗装の老朽化が進んでいる生活道路について、舗装等を更新する生活道路整備を進めます。

また、冬期間の円滑な交通を確保するため、道路の除排雪を適切に実施していきます。

2 地域の豊かな自然環境や文化芸術を生かしたまちづくり

(1) 西区環境まちづくり協議会を中心とした環境活動を支援

西区の豊かで恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐため、「西区環境まちづくり協議会」が実施する子供を対象としたSDGsに資する取組などの環境活動を支援します。

(SDGs：持続可能な開発目標)



① 西区環境まちづくり協議会支援補助金

西区環境まちづくり協議会の活動に対し、補助金を交付します。

<補助金を活用して実施される主な活動>

- ◆「エコキッズ・プログラム」、「親子でエコキッズ・プログラム」、「西区子ども自然学校」
区内の自然の中で、季節に応じたプログラムを行う自然体験教室。
- ◆「親子で環境満喫バスツアー」
リサイクルや省エネ啓発を目的とした、市内環境関連施設見学バスツアー。
- ◆「西区こども環境広場」
様々な体験やゲームなどを通じて、楽しみながら環境について学ぶ体験型環境イベント

② 西区環境教育リーダー養成講習

西区の環境活動を担う人材を養成するための講習会を実施します。

受講者は、受講後「西区環境教育リーダー」として、西区環境まちづくり協議会の環境関連事業で活動いただくなど、講習会で得た知識・経験を西区の取組に活かしていただきます。

(2) 琴似発寒川の環境保全推進事業

地域住民が主体となって実施する琴似発寒川の環境保全活動を支援します。

① 琴似発寒川一斉清掃

全ての連合町内会が参加して、春と秋の年2回、琴似発寒川及び左股川の河畔約12kmを清掃します。

② やまめの稚魚放流

西区内全ての連合町内会が参加して、春の一斉清掃の翌週に琴似発寒川及び左股川の流域6会場で、やまめの稚魚30,000匹を放流します。

(3) 地域の文化芸術活動の推進

西区には、様々な文化関連施設が設置されており、本格的な文化芸術に触れることができる環境が整っています。その環境を生かして、区民が上質な文化芸術に触れる機会を創出します。また、普段芸術文化に触れる機会が少ない方でも気軽に足を運べるように、地域のホールなど身近な施設を活用することで、地域のにぎわいづくりや住民間の交流を促進し、文化芸術を生かしたまちづくりを進めていきます。

① コトニ ジャズ

地下鉄琴似駅などを会場に、プロのミュージシャンによるジャズライブを行います。

<平成31年度の開催回数>地下鉄4回 ホール1回の計5回を予定

② コトニ クラシック

地下鉄琴似駅などを会場に、札幌交響楽団コンサートマスター大平まゆみ氏のコンサートをを行い、上質な音楽に触れる機会を提供します。

<平成31年度の開催回数>地下鉄3回 ホール1回の計4回を予定

<数値目標>コトニジャズとコトニクラシックの来場者数 1,600人

③ 西区文化フェスタ

2月の約1か月間を開催期間とし、区内各施設を活用しながら、コンサート、ライブ、ダンス、演劇、日舞など様々なジャンルのイベントを開催します。

<数値目標>来場者アンケートにおける満足度 85%以上

④ 子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」

子どもが楽しみながら芸術に親しむことのできる機会を提供する子ども向けワークショップ「こども・あーと・にしく」。自宅では作成することが難しい専門的な作品を子どもたちが創造力を働かせながら創作するとともに、上質な芸術作品を鑑賞するなど、芸術文化に染まる1日となります。

3 市民感覚を大切にしながら地域とともに進めるまちづくり

(1) 市民や企業等との連携

西区には、集客交流・地域活性化に資する魅力・資源が多数存在しています。これらを最大限活用し、集客交流・地域活性化を進めるため、西区と関連する市民・企業・大学等と連携し、産民学官一体となって、新たな魅力発信やまちづくり活動の推進を図ります。

(2) 地域の課題解決をまちセンがサポート

区内に8か所ある「まちづくりセンター」が、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえたさまざまな事業を行い、住民自ら地域の課題を解決する“地域力”の向上を目指します。

(3) 緑あふれるまちづくり

花苗（一年草・宿根草）や種を町内会などに配布して、歩道空間の美事業を、地域住民と協力して実施します。

また、二十四軒手稲通（愛称：ラベンダー通り）について、中央分離帯のラベンダーは、景観維持に努めながら、歩道部分の植樹ますには、地域と協力したラベンダーの植栽を進め、シンボルロードづくりを行います。



桑園発寒通の植栽

(4) 地下鉄宮の沢駅周辺のにぎわいを創出

宮の沢駅周辺のさらなる活性化を図るため、「宮の沢まちづくり協議会」の支援を通して、「宮の沢まちづくり計画」に基づく取組や、宮の沢地域の各団体が実施しているイベント・行事のさらなる充実、連携を図ります。

(5) 冬の暮らしに親しむ雪体験授業の実施

将来のまちづくりを担う子どもたちが、冬の暮らしに関心を持ち、札幌の雪対策への理解が深まるよう、全ての小学校で雪体験授業を行います。



授業風景（除雪車試乗）

(6) 区内のまちづくり活動の情報発信

まちづくり活動の担い手の発掘や参加の促進につなげるため、広報さっぽろや西区ホームページなどで、各地域で行われる町内会を始めさまざまなまちづくり活動を広く紹介します。



広報さっぽろへの掲載



西区ホームページでの活動紹介

(7) 区役所の行政サービス向上への取組

区役所内の手続き案内や情報発信を、来庁者目線でより分かりやすいものへ改善します。また、待ち時間のストレス軽減のため、高齢者・子連れの方など様々な来庁者が快適に過ごせる様、サービス向上へ向けた取組を行います。